

1977.1.15  
毎日新聞

# 核再処理工場の重大事故

## 国民の半数死亡も

報告波紋  
独が西書

【ボン十四日伊藤（光）特派員】使用済み核燃料再処理工場で万一、冷却施設が不能になれば、西独人口の半数に当たる三千万人が強力な放射能被爆で死亡する—こんなショッキングな内容を盛った研究報告の存在が、西独の連

邦自然保護市民運動連盟によってスッパ抜かれ、報告を隠していた内務省と自然保護団体の間で大論争を呼んでいる。市民運動連盟の発表によると、この報告は、内務省の委託でケルンの原子炉安全研究所が作成、昨年八月、同省に提出された。報告書によれば、再処理工場で冷却施設が完全に停止すると、爆発によって工場周囲百キロの範囲で

全住民が致死量の十倍から二百倍の放射能を浴び即死、最終的死亡者数は西独全人口の半分の三千万人になる可能性があるという。市民運動側は、内務省がこのような重大な研究結果を国民の目から隠していたことを非難、マイホーファー内相とマトトヘーファー科学技術相に対し引責辞職を要求している。さらに同連盟の科学者グループは、この研究が主とし

て冷却施設の事故だけを原因として想定し、地震、洪水、飛行機の墜落、テロなど様々な潜在的事故原因に目をむいていると、研究

### 風下の数千千人死ぬ

増殖炉事故 英でも警告

【ロンドン十四日大高特派員】英国の核施設検査局は十三日、発

電用高速増殖炉の建設計画について、初期段階では都会を遠く離れた地域に設けることが望ましいとして、原則的には認可の方向を打

の姿勢そのものも批判している。これに対し内務省は、報告を公表しなかったのは一連の総合的研究がまだ完成していなかったからだと弁明、三千万人被爆死の可能性も、安全対策をまったく放棄した場合を仮定した理論上の「最大事故予測」に過ぎないとして、市民運動側の発表を「パニックづくりをねらったもの」と批判する声明を十三日出した。しかし、今年最大のエネルギー国家プロジェクトとしてニーターサクセン州に計

# 77アガリライク

(東京) 03 216 0011  
(大阪) 06 344 0800

午前11時から午後7時まで

公共事業  
また「いつか来た道」